



初等部だより 3月号

鎌倉女子大学初等部
令和5年2月28日
第11号

卒業式

部長 勝木 茂

岩瀬キャンパスの梅の花も咲き、少しずつ日脚が伸びて来ることに、春の気配を感じる頃となりました。本年度も残り1か月となりました。



【岩瀬キャンパス内に咲く梅の花】

2月16日(木)には、松本講堂にて、和敬会会長 深山喜美子先生を講師に、「本と出会う、人と出会う」という演題で、「卒業記念講演」を実施いたしました。



【卒業記念講演の様子：松本講堂】

6年生の感想をいくつか紹介いたします。
(抜粋)

- ・改めて、本と出会うことが好きになりました。今まで、本はたくさん読んできたのですが、あまり読み直しをしてきませんでした。昔、好きだった本を読み直してみたいです。
- ・今の自分に大切だと思う本を大切に、これから様々なことを学んでいきたいと思いました。
- ・深山先生は、「本は言葉より強い力がある」

とおっしゃっていて、何かを学ぶことが出来るので良いと思いました。

- ・将来のことで悩むことも出てくると思った時、先生のように本を読んで参考にしたり、不安になった時は、明るい本を読むことで落ち着いたり、安心することが出来るんだなと思いました。

さて、3月15日(水)はいよいよ初等部卒業式です。すでに、2月13日付で配付させていただきました「本年度の卒業式について」にてご連絡させていただきましたが、本年度の卒業式については、初等部生全員が参加して行う予定です。

初等部における「卒業式」の目標は次の通りです。

- 卒業生一人一人が、卒業の喜びを味わうとともに、中学進学への希望をもち、今までお世話になった方々への感謝の気持ちと鎌倉女子大学初等部への愛校の念を抱き、将来への心構えがもてるようにする。
- 在校生は、卒業生に感謝の気持ちを持ち、伝統や品位を受け継ぎ、別れを惜しみつつ祝福する気持ちがもてるようにする。
- 式における規律と礼儀の大切さに気付き、気品ある態度がとれるようにする。

卒業式は6年生にとっては、最後の授業です。初等部においては、式当日だけではなく、それに至るまでの過程の中で、上述した目標が実現できることを目指しています。

6年生は、すでに、卒業を十分に意識しています。卒業式まで残り半月、素晴らしい卒業式になるよう「感謝のこころ」を大切にしつつ、しっかりと取り組んでいきたいと思えます。

保護者の皆様には、本年度も初等部の教育活動にご理解とご協力をいただきましたこと心より感謝申し上げます。